



學 穂

令和6年度 広州日本人学校
学校だより No.10
令和6年12月24日
発行責任者 校長 大久 耕

～ 広州日本人学校は2025年学校開校30周年を迎えます ～

良いお年をお迎えください

8月19日にスタートした2学期は、授業日数が84日間の長丁場でした。2学期のスタートにあたり、子供たちには、「勇往邁進（ゆうおうまいしん）」という言葉を挙げ「目標に向かって 勇気をもって前進 しましょう。挑戦する人を励まし支え合おう。」という話をしました。

学校での活動一つ一つが子供たちにとっては挑戦であり、学びの機会です。しかし、2学期スタート後まもなく、大きな事件が起こり、教育活動の縮小・変更を余儀なくされてしまいました。学校として、子供たちが学びたいと思う気持ちにどうやって答えていくのか、どうすれば実現できるのか、安全対策を考慮しながらの毎日でした。

保護者の皆様はもちろんのこと、学校理事会、広州日本商工会及び各企業、在広州日本国総領事館など、本校に関わる全ての方々のご理解とお力添えをいただき、無事に2学期の学習を進められましたことは、感謝し尽くすことができません。

子供たちも、皆様のご協力にこたえられるように、日々を力いっぱい過ごしました。多くの方にご来校いただいた運動会は、まさにその集大成であったと感じています。

改めまして、保護者並びに関係各所の皆様に感謝申し上げますとともに、子供たちの頑張りを称えたいと思います。本当にありがとうございました。

さて、今年もあと1週間ほどとなりました。安全で充実した冬休みをお過ごしください。3学期の始業式で、元気な子供たちに会えることを心より楽しみにしております。

2025年も素晴らしい1年となりますよう、よい年をお迎えください。



12月12日
中3調理実習

人権週間～思いやりの木～

人権週間の取組を振り返る「思いやりの木」が完成しました。個人懇談の際にご覧いただけたかと思います。自分の行動を振り返り、友だちに欠けた言葉、掛けられた言葉から、大切なことに気づくことができたのではないのでしょうか。

学校中に優しさが広がり、その優しさが「日中の架け橋」へとつながっていくといいですね。

